

ちよつといし話

～ 地 獄 ～

三河地方は比較的平穩に暮れておりますが、今年も諸所において色々な変動が猛威を振るっております。8月31日ルイジアナ州を襲ったハリケーンは都市を壊滅、死者5000人余？被害総額約1兆円と発表されました。また同じ日にバクダットでは巡礼者600人超が死亡、これ等は自然の猛威と人的被害による地獄の様相です。広島尾道市立美木中学校の福正純先生と長谷川忍先生がアフガニスタン南部で殺害されました。先生ですし、その行動はもちろん自己の責任です。昔から仏教では善きにつけ、悪しきにつけ**自業自得**と云います。今回、悪事が起きたのは外国ですので外務省、日本大使館の職員が個人の事に振り回されたのです。治安の悪い事は承知の上で出掛けた教師、考えの甘さが指摘されます。旅行を止める様に言った家族の悲しみは、どの様に考えたら良いのでしょうか？我がままで、自己満足が招いた災難と言えます。是の様に、今や世界の至る所で「この世の地獄」を見ることが出来ます。地獄はお釈迦様の言葉で「**naraka**」と言います。これを言葉の音写で「**奈落**」と呼び、奈落到ちると言う表現に成りました。災難で死んだ霊は死ぬ気で死んでないので、まず救われる事はありません。浮遊霊となって我々に新たな災難を引き起こすのです。そう言う浮遊霊が増え続けるのです。本当に怖い事ですね。当山に結縁されてみえる諸人達には災難の無い様にして頂きたいと思っております。第23号、第35号を参照して頂きまして、一日を一生としての生活、朝に生まれ、寝る時を死とし念佛を称え、全てに感謝、お礼をし、床につきましよう。何時、死出の旅に出立しても迷いの無い様にしましよう。桑原 桑原

善入院油掛地藏尊